

第1回 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関する評価委員会 会議録	
日時	平成25年10月25日(金) 10:00~12:00
開催場所	横浜市庁舎8階 温暖化対策統括本部会議室
出席委員	荒木委員、北原委員、田邊委員(3名) ※50音順
欠席委員	なし
開催形態	公開(傍聴者なし)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長選出 2 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の概要について 3 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の事業計画について 4 その他
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 荒木委員を委員長とする。 2 再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(全体計画書)について、内容を承認する。 3 平成25年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(年度計画書)について、内容を承認する。
資料 ・ 特記事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料 <ul style="list-style-type: none"> 資料1: 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関する評価委員会委員名簿 資料2: 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金及び当該基金事業に関する評価委員会条例 資料3: 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業に関する評価委員会運営要綱 資料4: 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業について 資料5: 再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(全体計画書) 資料6: 平成25年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書) 資料7: 施設の選定方法について 資料8: 蓄電池について 2 特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 次回は、平成26年3月上旬に開催予定。日時・会場など、詳細は後日お知らせします。

議事	
	<p>1. 委員長の選出</p>
事務局	<p>条例第 10 条第 2 項により、委員長は委員の互選によって定めることとなっております。委員長の選出について、ご意見はありますでしょうか。</p>
田邊委員	<p>荒木委員に、ぜひ委員長をお願いしたいと思います。</p>
	<p>【異議なし】</p>
事務局	<p>荒木委員に委員長をお願いします。</p>
	<p>2. 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の概要について</p>
事務局	<p>【資料 2、3、4 の説明】</p>
田邊委員	<p>特別避難場所は併設施設を持つものもあると思いますが、それらは導入対象施設から除くのでしょうか。</p>
事務局	<p>当事業は国の実施要領に基づき、災害時の防災拠点や避難所となる施設への導入を考えています。</p>
	<p>主に対象となる地域ケアプラザは、地区センターなどと合築されていることが多いですが、区の防災計画などで災害発生時に地区センターが地域ケアプラザに協力することと定められている場合、合築施設全体が防災に関する施設として認められると考えています。このように、防災に関する位置づけの有無で、判断することとなります。</p>
北原委員	<p>本事業の効果を市民に発信する手法についてですが、地域ケアプラザは不特定多数の方が訪れるため、例えば入口に、その施設には太陽光と蓄電池が整備されていることを示すなど、普及啓発を行うことは考えられないでしょうか。</p>
事務局	<p>普及啓発は大切ですので、検討します。</p>
	<p>3. 横浜市再生可能エネルギー等導入推進基金事業の事業計画について</p>
事務局	<p>【資料 5 の説明】</p>
北原委員	<p>天候が不順であるとき、あるいは日照時間が減る冬場などは、蓄電池は災害に備えて充電を優先するのでしょうか。</p>
事務局	<p>蓄電池は系統電力からも充電可能な機器とする予定ですので、一定の充電量は確保できる予定です。</p>
田邊委員	<p>導入する太陽光発電システム等の容量は、施設の規模により異なるのでしょうか。</p>
事務局	<p>施設を調査して状況把握しているところですが、主な導入先となる地域ケアプラザの屋上は耐荷重が弱い施設もあるため、容量を小さくする可能性もあります。</p>
田邊委員	<p>導入する施設の築年数は、導入に際して影響あるでしょうか。</p>
事務局	<p>最近建設された地域ケアプラザは、デイサービス施設がなく、狭いものが</p>

	<p>多くなっています。そのため、竣工から 10 年程度であれば、併設施設が防災に関する施設と認められる場合、合築施設も活用していきたいと考えています。</p>
田邊委員 事務局	<p>導入する設備の耐用年数はどれくらいでしょうか。</p> <p>太陽光発電設備は一般的に太陽光パネルが 20 年、パワーコンディショナーが 10 年と言われています。</p>
荒木委員長	<p>蓄電池に関しては、技術の更新が早いため一概には言えませんが、毎日充放電するような運用だと 10 年使うことは難しいでしょう。</p>
事務局 荒木委員長	<p>【資料 6、7、8 の説明】</p> <p>安全性や寿命等の説明がありましたが、急速充電性についてはあまり考えなくても良いと思います。</p>
田邊委員 事務局	<p>今年度の実施設計を予定する中山地域ケアプラザは複合施設ですが、これも導入に問題はないのでしょうか。</p> <p>施設全体が緑区災害対策本部の代替施設であると、区の防災計画に定められているため、導入可能と考えています。</p> <p>なお、当事業は、導入後の施設運用に関連するため、区との調整を重視しています。例えば、中山地域ケアプラザのように太陽光パネルを設置済みの施設については蓄電池のみを導入するなど、柔軟に対応します。</p>
荒木委員長 事務局	<p>今年度の候補施設を見ると郊外が多くなっていますが、中心部での候補がないのは、屋根の面積などの問題でしょうか。</p> <p>それも一因です。他の原因には、民間施設との合築が多いことも挙げられます。民間施設との合築は、原則として当事業の対象外となります。</p>
荒木委員長 事務局	<p>生麦地域ケアプラザは周囲にマンションがありますが、日陰などの問題はありませんか。</p> <p>設計業者と現地調査した結果、大きな問題はないと見込んでいます。</p>
北原委員 事務局	<p>地域ケアプラザ全体で消費している電力に対して、太陽光発電システムの導入効果はどれくらいを見込んでいますか。</p> <p>地域ケアプラザを平均してみると、10kW の太陽光を導入した施設では電力量の約 10%、5kW の太陽光を導入した施設では電力量の約 5% を削減できると見込んでいます。</p>
荒木委員長	<p>消費税等の影響を見るため、LED 導入は見合わせるとのことですが、一般的に創エネより省エネの方が費用対効果が良いので、1/3 の市費負担が必要ですが、できる限り取り組んでいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>蓄電池は、リチウムイオンに限っても種類が多くありますが、それらの性能について差はあまりないのでしょうか。</p>
荒木委員長	<p>施設に導入する場合、車載のものなど違いスペースや重さをそこまで意</p>

事務局	<p>識する必要が無い場合、差は大きくないかもしれません。なお、コストを考えると鉛蓄電池が最も安価です。</p> <p>リチウムイオン電池の技術は日進月歩であることや、全体のシステムをどのように構成するのかが差が生ずるものと考えています。</p> <p>発注にあたっては、メーカーや型番を特定するような絞り込みは難しいため、リチウムイオン蓄電池の導入ということまでは定めますが、それ以上には、容量の下限をつける程度と考えています。</p>
田邊委員 事務局	<p>導入設備については、各地域ケアプラザで同一のものとなるのでしょうか。</p> <p>工事発注については3～4施設単位での発注となる見込みもあり、導入される蓄電池等も異なる機器になる可能性が高いと考えます。</p> <p>運用面についてはメーカーが異なっても円滑に行えるようなマニュアルづくりなどが必要だと考えています。</p>
北原委員 事務局	<p>各ケアプラザに、エネルギー管理士などの専門の職員などはいらっしゃいますか。</p> <p>配置されていません。建築局の専門職員が電気主任技術者として複数施設の保安に対応しています。</p>
荒木委員長	<p>蓄電池のユーザビリティはメーカーごとに異なるため、注意が必要かもしれません。</p>
荒木委員長 事務局	<p>蓄電池は建物の中に入れるのでしょうか。</p> <p>そのように考えています。電気室を第一候補とし、電気室が無い場合は換気設備のある物置などを候補としています。</p>
荒木委員長	<p>特に他の御意見がございませんようでしたら、今回の事業計画について承認をいただきたいのですがよろしいでしょうか。</p>
荒木委員長	<p>【異議なし】</p> <p>全体計画書及び平成 25 年度計画書について、評価委員会として承認します。</p>
事務局	<p>4. その他</p> <p>今回は、平成 26 年 3 月上旬に開催予定です。日時・会場など、詳細は後日お知らせします。</p>